

主な客観情勢の変更について

本書の発行後、情勢の変更があったものについて、主なものをまとめました。本書をご使用の際、ご考慮いただければ幸いです。

1) 指導用教科書(朱書き)

箇所	情勢変更の内容
p.19 板書例 右 「新しい地域的枠組み」	教科書で、情報を更新しています。 〔現 行〕→北米自由貿易協定(NAFTA) 〔変更後〕→米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)
p.19 図⑤ タイトル	教科書で、加盟国についての情報を更新しています。 〔現 行〕 2015年における世界のおもな機構 〔変更後〕 2020年における世界のおもな機構
「解説」 4～5行目	〔現 行〕 EUは28か国、ASEANは10か国に拡大した。 〔変更後〕 EUには27か国、ASEANには10か国が加盟している(2022年2月現在)
「解説」 9行目	教科書で、情報を更新しています。 〔現 行〕→NAFTAが発足した。 〔変更後〕→NAFTAが発足した(2020年にNAFTAに代わってUSMCAが発効された)。
p.23 板書例 右 「貿易によって結びつく世界」	教科書で、協定の表記を修正しています。 〔現 行〕→環太平洋経済連携(TPP)協定 〔変更後〕→TPP11協定
p.108 図② 「読取」 4行目	教科書で、加盟国についての情報を更新しています。 〔現 行〕→の国からなる地域へ拡大した。 〔変更後〕→の国からなる地域へ拡大したが、2020年にイギリスが離脱している。
p.115 板書例 右 「EUが抱えるさまざまな課題」	教科書で、加盟国についての情報を更新しています。 〔現 行〕→イギリスEU離脱を検討 〔変更後〕→イギリスEU離脱
p.153 写真⑦ タイトル	教科書で、写真を差し替えています。 〔現 行〕 地球温暖化対策を話し合う気候変動枠組条約第20回締約国会議(COP20)のようす 〔変更後〕 「パリ協定」を採択した国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)
p.157 板書例 右側5行目	教科書で、本文の記述が更新されています。 〔現 行〕・ブラジル・・・約7割が水力 〔変更後〕・ブラジル・・・約6割が水力

2) 研究編

箇所	情勢変更の内容
p.44 右 「人口抑制のために行われた一人っ子政策」 『『二人っ子政策』への転換』	2021年8月20日の全国人民代表大会の常務委員会で、夫婦が第3子を出産することを正式に認める「人口・計画出産法」の改正案が成立し、即日施行されました。これに伴い、令和4年度教科書からp.63本文23～24行目の記述を修正しました。
p.67 右 6～7行目	教科書で、加盟国についての情報を更新しています。 〔現 行〕→シェンゲン協定が実施されたことによって、イギリス、アイルランド… 〔変更後〕→シェンゲン協定が実施されたことによって、アイルランド…

箇所	情勢変更の内容
p.76 右 「北米自由貿易協定」	〔最終行に追加〕 その後、アメリカ合衆国が自国に不利に働く協定として改正を求めたため、2020年に米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)がNAFTAに代わって発効した。

訂正のお知らせ

本書におきまして、記載に誤りがございました。つぎのとおり訂正いたします。ご迷惑をお掛けいたしますこと、謹んでお詫び申し上げます。

1) 指導用教科書(朱書き)

箇所	もとの記述	訂正後の記述
p.32 図①②内 「解説」2行目	詳しく見ると、扇頂から扇端にかけて、数本の流路の跡が	詳しく見ると、扇頂から扇端 <u>方向</u> にかけて、数本の流路の跡が
写真に「扇端」が写っていないので、修正します。教科書では、注釈(※扇端はこの写真の範囲外となる)を入れて対応しています。		
p.81 板書例 7行目	1970年代の農業技術革新	1960年代の農業技術革新
p.81 写真⑦ 「解説」6～7行目	ポンプを設置して養殖を行う池の造成が拡大している。	ポンプを設置して養殖を行う池の造成が拡大している。
p.118 写真① タイトル	クレムリンの城壁の外に広がる赤の広場と聖ワシリー寺院	クレムリンの城壁の外に広がる赤の広場と聖ワシリー大聖堂

2) 研究編

箇所	もとの記述	訂正後の記述
p.77 左 下から6行目	平均年収は <u>100.1万ドルに達する</u> 。	平均年収は <u>10万ドル以上である</u> 。
p.83 左 タイトル	◆オーストラリ <u>ラ</u> の小麦栽培	◆オーストラリ <u>ア</u> の小麦栽培

3) 教科書関連データ(DVD-ROM)

箇所	もとの記述	訂正後の記述
〔テスト例14〕 「ロシアの生活・文化」単元	〔 <u>1</u>]-問2〕 円グラフおよび選択肢ABが、左右で逆になって(入れ替わって)おりました。	
〔テスト例16〕 「ラテンアメリカの生活・文化」単元	〔説明文〕混血の割合が最も高い国は <u>チリ</u> で	〔説明文〕混血の割合が最も高い国は <u>ブラグアイ</u> で